

宇部市下水道事業業務状況報告書

令和4年度下期分

令和4年10月1日から

令和5年3月31日まで

1 業務の概況

令和4年度下期の総処理水量は8,932,712 m^3 、有収水量は6,314,472 m^3 でした。

下期の建設改良事業につきましては、玉川ポンプ場の建設事業をすすめるとともに、老朽化した施設の改築更新、汚水の面整備に取り組みました。

(1) 汚水整備戸数、汚水整備人口 (令和5年3月31日)

区分	4年度予算 (A)	下期分実績 (B)	執行率(%) (B)/(A)	4年度実績 (C)	執行率(%) (C)/(A)
汚水整備戸数(戸)	131	51	38.9	145	110.7
汚水整備人口(人)	293	103	35.2	310	105.8

(2) 処理状況 (令和5年3月31日)

区分	4年度予算 (A)	下期分実績 (B)	執行率(%) (B)/(A)	4年度実績 (C)	執行率(%) (C)/(A)
総処理水量(m^3)	19,720,000	8,932,712	45.3	19,167,635	97.2
一日平均処理水量(m^3)	54,027	49,081	—	52,514	—
有収水量(m^3)	12,794,000	6,314,472	49.4	12,717,570	99.4

2 経理の状況

(1) 予算の執行状況

イ 収益的収入及び支出 収入

款	項	目	4年度 予算額(A)	下期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	4年度 決算額(C)	執行率 (C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
下水道 事業収益			6,392,088	3,228,710	50.5	6,443,495	100.8
	営業収益		3,212,749	1,570,231	48.9	3,189,500	99.3
		下水道 使用料	2,408,058	1,190,910	49.5	2,396,175	99.5
		他会計 負担金	804,683	379,308	47.1	793,308	98.6
		その他 営業収益	8	13	162.5	17	212.5
	営業外 収入		3,179,329	1,658,464	52.2	3,253,980	102.3
		受取利息 及び配当金	50	49	98.0	65	130.0
		他会計 負担金	817,138	414,909	50.8	804,909	98.5
		他会計 補助金	268,979	105,750	39.3	267,750	99.5
		消費税及び地方 消費税還付金	10,000	99,310	993.1	99,310	993.1
		長期前受 入金戻	2,023,808	1,002,031	49.5	2,019,547	99.8
		雑収益	59,354	36,415	61.4	62,399	105.1
	特別利益		10	15	150.0	15	150.0
		固定資産 売却益	0	15	皆増	15	皆増
		過年度損 修正益	10	0	0.0	0	0.0
収入計			6,392,088	3,228,710	50.5	6,443,495	100.8

(注) 消費税及び地方消費税込

支 出

款	項	目	4年度 予算額(A)	下期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	4年度 決算額(C)	執行率 (C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
下水道 事業費用			5,921,958	3,235,348	54.6	5,848,486	98.8
	営業費用		5,619,272	3,092,151	55.0	5,556,239	98.9
		管 渠 費	137,853	95,947	69.6	136,782	99.2
		ポンプ場費	317,418	202,481	63.8	304,683	96.0
		処 理 場 費	946,951	605,886	64.0	927,476	97.9
		総 係 費	228,390	132,428	58.0	224,459	98.3
		減価償却費	3,785,052	1,872,000	49.5	3,779,418	99.9
		資産減耗費	203,608	183,409	90.1	183,421	90.1
	営業外用		290,151	142,144	49.0	290,050	100.0
		支払利息及び 企業債取扱諸費	287,359	139,352	48.5	287,258	100.0
		雑 支 出	2,792	2,792	100.0	2,792	100.0
	特別損失		2,535	1,053	41.5	2,197	86.7
		固 定 資 産 売 却 損	1,035	1,035	100.0	1,035	100.0
		過年度損益 修 正 損	1,500	18	1.2	1,162	77.5
	予 備 費		10,000	0	0.0	0	0.0
		予 備 費	10,000	0	0.0	0	0.0
支 出 計			5,921,958	3,235,348	54.6	5,848,486	98.8

(注) 消費税及び地方消費税込

※令和3年度からの繰越事業分は、ポンプ場費に含まれています。

ロ 資本的収入及び支出
収 入

款	項	目	4年度 予算額(A)	下期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	4年度 決算額(C)	執行率 (C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
資本的収入			5,288,406	4,762,985	90.1	5,170,446	97.8
	企業債		2,354,100	2,236,600	95.0	2,236,600	95.0
		企業債	2,354,100	2,236,600	95.0	2,236,600	95.0
	出資金		585,157	289,810	49.5	583,810	99.8
		他会計 出資金	585,157	289,810	49.5	583,810	99.8
	補助金		2,311,084	2,233,026	96.6	2,311,084	100.0
		国庫補助金	2,311,084	2,233,026	96.6	2,311,084	100.0
	受益者 負担金		29,100	3,508	12.1	29,946	102.9
		受益者 負担金	29,100	3,508	12.1	29,946	102.9
	固定資産 売却代金		8,965	41	0.5	9,006	100.5
		固定資産 売却代金	8,965	41	0.5	9,006	100.5
収入計			5,288,406	4,762,985	90.1	5,170,446	97.8

(注) 消費税及び地方消費税込

※令和3年度繰越事業に充当する財源は、企業債及び国庫補助金に含まれています。

令和5年度への繰越額1,071,396千円は、令和4年度予算額から除いています。

支 出

款	項	目	4年度 予算額(A)	下期分 執行額(B)	執行率 (B)/(A)	4年度 決算額(C)	執行率 (C)/(A)
			千円	千円	%	千円	%
資本的支出			8,346,262	6,813,355	81.6	8,328,250	99.8
	建設改良費		5,694,632	5,500,054	96.6	5,681,622	99.8
		管渠事業費	5,567,308	5,386,609	96.8	5,558,672	99.8
		処 理 場 事 業 費	122,570	110,011	89.8	118,640	96.8
		受 益 者 負 担 金 徴 収 事 務 費	739	461	62.4	736	99.6
		固 定 資 産 購 入 費	4,015	2,973	74.0	3,574	89.0
	企 業 債 還 金		2,646,620	1,313,292	49.6	2,646,619	100.0
		企 業 債 還 金	2,646,620	1,313,292	49.6	2,646,619	100.0
	投 資		10	9	90.0	9	90.0
		預 託 金	10	9	90.0	9	90.0
	予 備 費		5,000	0	0.0	0	0.0
		予 備 費	5,000	0	0.0	0	0.0
支 出 計			8,346,262	6,813,355	81.6	8,328,250	99.8

(注) 消費税及び地方消費税込

※令和3年度からの繰越事業分は、管渠事業費及び処理場事業費に含まれています。

令和5年度への繰越事業費1,937,866千円は、令和4年度予算額から除いています。

(2) 財務諸表

イ 損益計算書

(令和4年10月1日から令和5年3月31日まで)

	営業費用 3,025,856千円 94.9%	営業収益 1,461,966千円 45.8%	
		営業外収益 1,556,819千円 48.8%	
営業外費用 162,562千円 5.1%			特別利益 14千円 0.0%
特別損失 1,051千円 0.0%			当期純損失 170,670千円 5.4%

(注)消費税及び地方消費税を含まない。

ロ 貸借対照表

(令和5年3月31日)

	固定負債 33,933,149千円 29.6%		流動負債 2,989,645千円 2.6%
	固定資産 110,213,381千円 96.2%	繰延収益 52,147,964千円 45.5%	
流動資産 4,368,501千円 3.8%		資本金 21,040,169千円 18.4%	剰余金 4,470,955千円 3.9%

※当年度純利益は352,564千円

3 令和5年度予算の概況及び経営方針

本市の下水道事業は、今後、人口減少に伴う使用料収入の減少などによる収益悪化が予想される中、下水道施設の老朽化に伴う改築更新費用が増大していくことから、経営基盤強化や施設更新の財源確保が大きな課題となっています。

このような厳しい経営環境の中、玉川ポンプ場や芝中ポンプ場の建設事業、並びに下水道施設の維持管理に官民連携手法を積極的に活用することで事業運営の効率化を図ります。また、老朽化した施設の改築・更新や未普及地域への汚水整備を計画的に進め、快適な生活環境の確保や公共用水域の水質保全に努めます。

令和5年度下水道事業会計予算は、業務の予定量として、公共下水道処理区域面積3,515.4ha、年間総処理水量20,169千 m^3 を見込み、これらに必要な諸経費及び使用料収入等を計上しました。

まず、収益的収支ですが、下水道事業収益の6,407,715千円から消費税及び地方消費税分222,549千円を控除し、下水道事業費用の6,098,630千円から消費税及び地方消費税分123,413千円を控除した結果、当年度純利益は209,949千円となります。

次に、資本的収支ですが、主な事業としては、玉川ポンプ場事業のほか、処理場施設や管渠の改築事業、浜田川以東の東岐波・西岐波地区の汚水整備等に要する建設改良費を計上しました。

収入においては、これら支出に対応する財源として、国庫補助金、企業債等を計上しました。

その結果、資本的収入4,686,936千円、資本的支出7,108,279千円となり、差引2,421,343千円の財源不足となる見込みですが、これは、損益勘定留保資金等で補てんすることとしました。